



穎娃幼稚園が鹿児島水産高校でお別れ遠足

■2月20日、令和5年度閉園予定の穎娃幼稚園の園児4名と関係者がお別れ遠足で鹿児島水産高校を訪れ、さまざまな体験を行いました。その後、園児たちは枕崎駅からJR指宿枕崎線を利用し、帰路に就きました。



オンラインイベント「ふるさと食体験」開催

■2月23日、関係人口創出を目的としたオンラインイベント「ふるさと食体験」が行われ、山猫瓶詰研究所のマフィンをお茶請けにJA南さつまの村岡恒さんによる美味しいお茶の淹れ方教室を開催し、枕崎茶の魅力を発信しました。



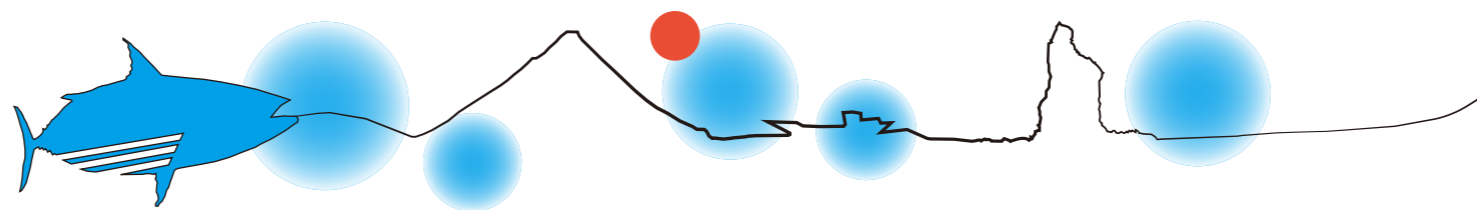
まくらざき探検隊企画「星空観察会」開催

■2月23日、別府小学校でまくらざき探検隊企画「星空観察会」が開催されました。鹿児島県天文協会会長の前田利久先生による枕崎で観察できる星座や新たに発見された星などの話に、参加者は興味尽きない様子でした。



KoToKoToに古民家カフェがオープン

■3月15日、築100年の古民家を改修した交流拠点「KoToKoTo」に、カフェ「エトワール」がオープンしました。不定休のためお問い合わせください(問合せ:090-3193-0315)。営業時間は午前11時30分～午後4時です。



まくかつ(枕崎鯉)スティック販売開始！ ～鹿児島水産高校と松野下蒲鉾のコラボ商品が完成

鹿児島水産高校生と松野下蒲鉾のコラボ商品「まくかつ(枕崎鯉)スティック」が完成し、ふるさと納税の返礼品として登場します。枕崎のカツオをすり身に混ぜ込みカツオの旨味をパン粉で包み込みました。電子レンジで解凍するだけで食べられる冷凍食品です。

また、付属のバジル粉はオーガニックハーブ研究所No.634(中崎千晶さん)が生産した枕崎産バジルを使用しており、お好みでかけていただくと味の変化を楽しむことができます。南薩地域地場産業振興センターでも購入可能です。



性にとらわれず生理への理解深めて ～商工会議所女性会が市内小中学校に生理用品を贈呈

枕崎商工会議所女性会では、創立30周年記念事業として、生理用品の購入や入手に不安を抱える児童・生徒等への支援のため、市内小中学校へ生理用品の贈呈を行いました。贈呈された生理用品は、各学校の保健室で申し出ると理由を問わず受け取ることができます。

各学校での贈呈式で贈呈を行った同会の会員は「困った時は一人で悩まず保健室へ行ってください」と呼びかけ、これをきっかけに男女問わず生理への理解を深めてほしいと話しました。また、生理用品は、市内の企業・団体をはじめ、市民からの募金により購入したもので、同会会長の新宮領千鶴さんは「会を代表して賛同いただいたすべての方に深く感謝します」と話しました。



全国の舞台でトップレベルの演奏を披露 ～火の神乙女太鼓 爽 日本太鼓ジュニアコンクールで特別賞を受賞

3月19日、石川県金沢市の金沢歌劇座で開催された第25回日本太鼓ジュニアコンクール(高校生以下の全国大会)において、全国各地から44チームが出場する中、火の神乙女太鼓 爽 が特別賞(諏訪響太鼓店賞)を受賞しました。

今回が最後の全国大会となった枕崎高校3年生の萩原花史さんは「最後に全国大会の舞台に立つことができると嬉しかったです。指導をしてくださった先生方や先輩方、支えてくれた保護者、そして応援してくださった地域みなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました」と話しました。

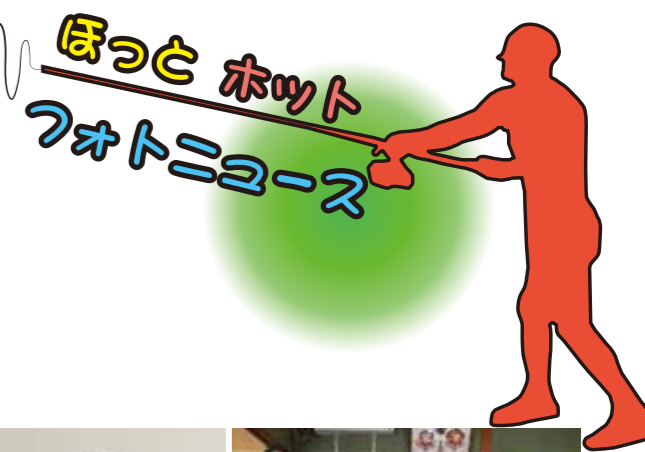


野球のまち枕崎へようこそ！ ～筑波大学硬式野球部歓迎セレモニーおよび野球教室を開催

3月3日、あいどんカップへの出場に合わせて市営野球場でキャンプを行う筑波大学硬式野球部の歓迎セレモニーが開催されました。市からは枕崎牛を、枕崎鯉節協会からタキや鯉節等の贈呈を行いました。

また、3月4日には、枕崎を拠点に活動する中学生硬式野球チーム「薩摩南海ボーイズ」を対象に野球教室が開催され、大学野球の第一線で活躍する選手たちから直接指導を受けました。目的を持ちつつ楽しむことも取り入れた練習メニューの体験など貴重な経験に、選手たちは生き生きと参加していました。

今後の筑波大学硬式野球部の活躍を期待しています。



100歳の誕生日を迎えました ～山崎ミエさん、山之内一男さん、西之原ミチさん、田中サチエさん

3月に、4名の方が100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

1 山崎ミエさん(里町・3月15日)
枕崎出身の山崎さんは、4人の子供に恵まれ、若い頃は農業をしており、さつま芋を育てていました。裁縫が趣味で、洋服を縫ったり、セーターを編んだりすることが好きだという山崎さん、長生きの秘訣は「のんびりと自由に生きること」と話します。

2 山之内一男さん(泉町・3月17日)
枕崎出身の山之内さんは、3人の子供に恵まれ、若い頃は鯉節工場で働いた後、40年近く仕出し屋をしていました。趣味の盆栽や散歩をすることが好きだという山之内さん、長生きの秘訣は「辛い物や味の濃いものを食べないこと」と話します。

3 西之原ミチさん(別府西町・3月25日)
枕崎出身の西之原さんは、若い頃は大阪で看護師をしており、戦時中も船に乗って戦地をまわっていました。歩いて買い物やお墓参りに行くことが日課だという西之原さん、長生きの秘訣は「自分のことは自分ですること、好き嫌いがいいこと」と話します。

4 田中サチエさん(寿町・3月28日)
旧坊津町出身の田中さんは、若い頃から定年まで薩摩酒造で働いていました。80代前半まで自転車に乗っていたという田中さん、長生きの秘訣は「深く考え込まないことと、肉よりも魚をよく食べること」と話します。皆さん、これから元気で長生きしてください。